

病害虫防除技術情報第 16 号

平成 25 年 12 月 25 日

三重県病害虫防除所

QoI 剤(ストロビルリン系殺菌剤)耐性イネいもち病菌が、西日本の一部で発生しています。QoI 剤を適切に使用して、耐性菌の発生を未然に防ぎましょう。

1. 対象作物:水稲
2. 対象病害虫名:イネいもち病
3. 三重県における QoI 剤(表 1)耐性イネいもち病菌(以下、耐性菌)のモニタリング調査結果と、県外における耐性菌の発生状況
 - (1) 三重県内では、耐性菌の発生は確認されていません。2013 年に採取したイネいもち病菌(39 地点、189 菌株)に対して、三重県農業研究所で耐性菌検定を行ったところ、全て感受性菌でした。
 - (2) しかし、西日本(九州、中国、四国、近畿地方)の 12 府県では、耐性菌の発生が確認されています(表 2)。
 - (3) QoI 剤はイネいもち病に対する防除効果が高く、優れた薬剤であり、三重県内でも広い面積で使用されています。耐性菌が発生すると、今後のいもち病防除が困難になるおそれがあります。QoI 剤を適切に使用することにより、優れた効果を持続させるよう努めましょう。

表1 イネいもち病を対象としたQoI剤 ※最大年1回の使用としましょう

殺菌剤のグループ	耐性菌の発生リスク	有効成分名	商品名の例
菌11 (QoI)	高	アゾキシストロビン	アミスター
		オリサストロビン	嵐
		メミノストロビン	イモチエース、イモチミン、オリブライト、オリザトップ

4. イネいもち病防除における QoI 剤耐性菌の発生を未然に防ぐための注意点
 - (1) QoI 剤の使用は最大年 1 回までとし、採種圃場での使用禁止を再度徹底しましょう。
 - (2) 長期持続型 QoI 剤の育苗箱処理は、耐性菌の選択圧を高める要因の一つとして考えられています。できる限り、作用機構の異なる薬剤とのローテーションで使用するか、耐性菌の発生リスクが低い薬剤を選択しましょう(表 3)。
 - (3) イネいもち病の主な伝染源は、汚染された種子です。種子は耐性菌の確認されていない県(三重県では確認されていません)で生産されたものを使用しましょう。表 2 に該当する県以外から種子が手に入らない場合は、QoI 剤と作用機構の異なる薬剤で防除してください(表 3)。
 - (4) QoI 剤を本田で使用する場合、葉いもちに対しては初発前あるいは発生初期に、穂いもちに対しては薬剤の使用適期に散布しましょう。
 - (5) いもち病防除の基本となる防除対策を再度徹底しましょう(健全な種子を使用する、種子消毒を徹底する、伝染源となるわらや粃を育苗ハウス内に放置しない、補植用の置き苗は早めに処分する、など)。
 - (6) 以上の取り組みを地域一帯となって実施しましょう。

(7) QoI 剤を使用したにもかかわらず、効果が著しく低かった場合は、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センターや、関係団体へご連絡下さい。

表2 QoI剤耐性イネいもち病菌の発生が確認された、他県の状況

都道府県	発表年月日	発生状況	発表資料
山口県	2012年10月3日	広範囲	平成24年度農作物病害虫発生予察技術資料
島根県	2012年11月7日	一部	平成24年度農作物病害虫発生予察情報 技術資料第1号
愛媛県	2012年12月21日	広範囲	病害虫防除技術情報第3号
福岡県	2013年1月25日	広範囲	ストロビルリン系殺菌剤(QoI剤)に対する感受性の低下した いもち病菌の発生について
佐賀県	2013年1月	一部	平成24年度佐賀県研究成果情報
大分県	2013年3月11日	広範囲	平成24年度病害虫発生予察特殊報第1号
宮崎県	2013年7月5日	一部	平成25年度病害虫防除情報第4号
熊本県	2013年8月21日	不明	技術情報第11号
岡山県	2013年8月22日	一部	植物防疫情報第6号
兵庫県	2013年8月30日	広範囲	病害虫発生予察技術情報第1号
鳥取県	2013年9月12日	不明	平成25年度病害虫発生予察指導情報
京都府	2013年11月13日	一部	防除所ニュース平成25年第6号

表3 イネいもち病を対象としたQoI剤以外の農薬

殺菌剤のグループ	耐性菌の発生リスク	有効成分名	商品名の例
菌P (抵抗性誘導剤)	耐性菌未発生	プロベナゾール	オリゼメート、Dr.オリゼ、ビルダー、ジャッジ
		チアジニル	ブイゲット、アブライ
		イソチアニル	ルーチン、スタウト、ツインターボ
菌16.1	耐性菌未発生	トリシクラゾール	ビーム、ラテラ
		ピロキロン	コラトップ
		フサライド	ラブサイド
菌U14	耐性菌未発生	フェリムゾン	(フサライドとの混合剤)ブラシン、 (トリシクラゾールとの混合剤)ノンプラス
菌6	低～中	IBP	キタジンP
		イソプロチオラン	フジワン、 (ピロキロンとの混合剤)ピカピカ、フジトップ
菌24	中	カスガマイシン	カスミン、 (トリシクラゾールとの混合剤)ゲットワンエース、ダブルカット
菌1	高	チオファネートメチル	トップジンM
		ベンミル	ベンレート

FRAC Code List(2012年2月現在)による分類。平成25年版 三重県病害虫防除の手引きを参照。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。